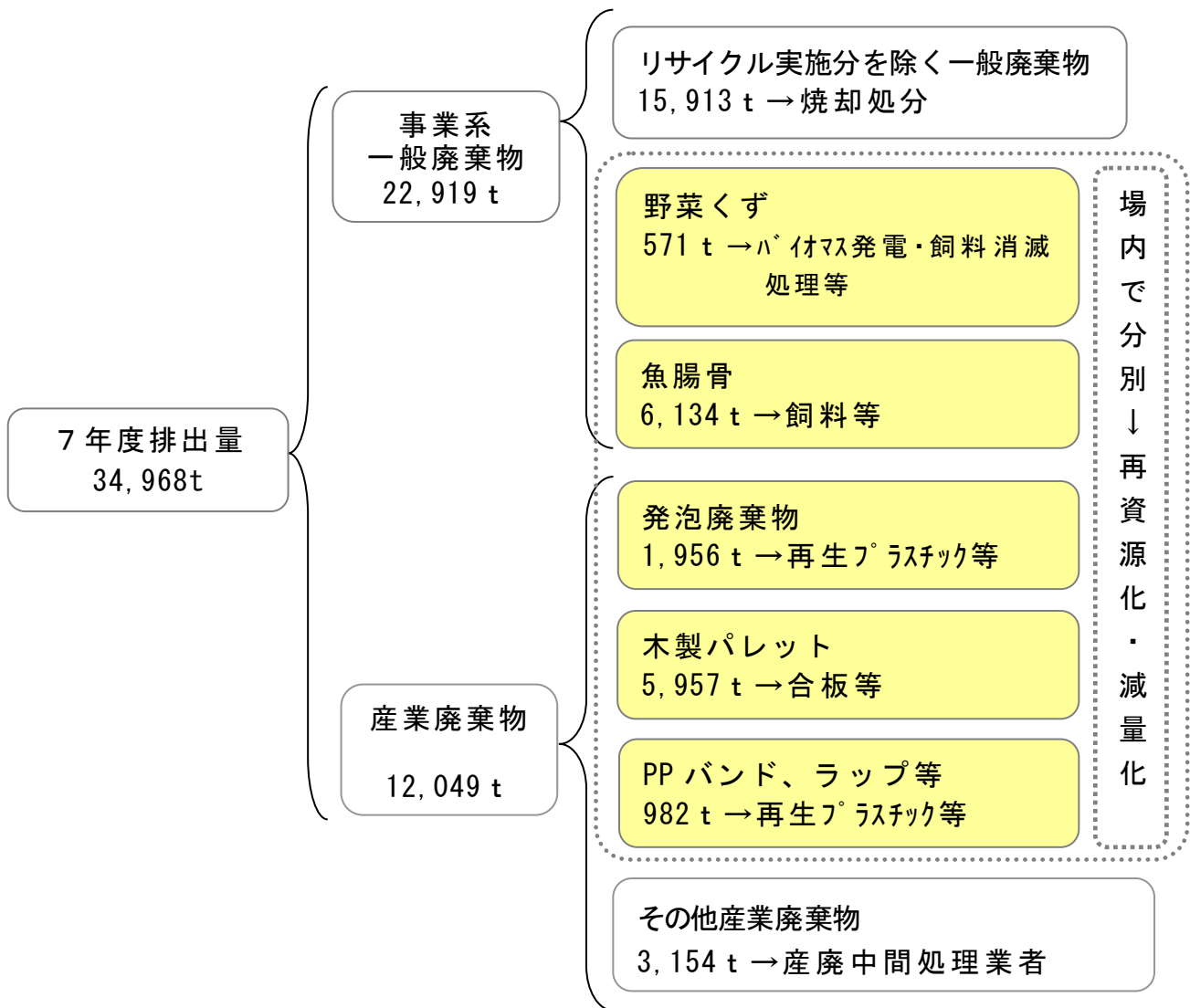


東京都中央卸売市場 廃棄物処理及びリサイクルの現状と課題



※廃棄物内訳は単位未満を四捨五入しており、内訳の合計と全体排出量が一致しない場合がある。

- 一般廃棄物の排出量は22,919トンであり、このうち清掃工場で焼却処分されるごみは約69%の15,913トンです。野菜くずは571トン、魚腸骨は6,134トンが再資源化されており、段ボール(集計外)はほぼ全てが再資源化されています。
- 産業廃棄物の排出量は12,049トンであり、発泡廃棄物1,956トン、木製パレット5,957トン、PPバンドやラップ等982トンが主に場内で分別され、再資源化業者に持ち込まれています。これらを除く3,154トンは産業廃棄物中間処理業者へ持ち込まれ、分別のうえ再資源化やサーマルリサイクル(熱回収)等されています。
- 市場で排出された34,968トンの廃棄物のうち、野菜くず、魚腸骨、発泡廃棄物、木製パレット、PPバンド等の15,600トン(全体の約45%)は、主に場内で分別し再資源化業者に持ち込まれています。引き続き、ごみの発生量を抑制するとともに、リサイクルの一層の推進を図ることが課題となっています。